

ロンドン、ウィーン 2021年11月30日

プライメタルズテクノロジーズと YARA Environmental Technologies が Acciaierie d'Italia プラント向け排ガス処理システムを受注

- ボイラー3基に最新鋭の排ガス処理システムを導入
- NOx、SOx、ダストの排出を大幅に削減
- 1号機の運転開始は2022年第4四半期を予定

共にオーストリアを拠点とするプライメタルズテクノロジーズオーストリア（Primetals Technologies Austria GmbH 以下、PT）と YARA Environmental Technologies GmbH（以下、YARA）によるコンソーシアムは、イタリアの Acciaierie d'Italia（以下、Acciaierie）より同社のタラントにある第2発電所の160MWボイラー3基向け排ガス処理（FGT）システムを受注しました。PTが脱硫と除塵システムを担当し、YARAは新しいエコノマイザーとSCR（selective catalytic reduction 選択的触媒還元）脱硝システムを担当します。FGTシステムの1号機は2022年の第4四半期に運転開始予定、続く2号機、3号機も順次運転を開始する予定です。

1970年代初頭に建設された第2発電所（CET 2）は従来型の熱電発電所ですが、NOx排出量を80%削減するSCR脱硝システム（新しいエコノマイザーに組み込まれる）、SOx排出量を130mg/Nm³以下にするMEROS脱硫技術、および微細な煤塵排出量を2mg/Nm³以下にするハイエンドファブリックフィルターなどの最新の排ガス処理技術を導入し、環境面で大幅にアップグレードされます。

既存の発電所のレイアウトと利用可能な限られたスペースを活用できるよう、新しいFGTシステムの設計にはプロジェクトの初期段階から特別な配慮がされています。

PTのECOソリューション部門責任者であるAlexander Fleischanderl博士は次のように述べています。「タラントの発電所が最も厳しい排出量基準をクリアすることを支援するこの重要な環境負荷改善プロジェクトは、当社とAcciaierieとの長年にわたる素晴らしいパートナーシップにおける新たなマイルストーンとなります。焼結機に新設する二次除塵プロジェクトと、焼結プラントDとEで進行中の4基のMEROS導入後、CET2発電所の3つのブロックにMEROSが3基導入されます。当社の高性能ECOソリューションに対するAcciaierieの信頼を誇りに思っています。」

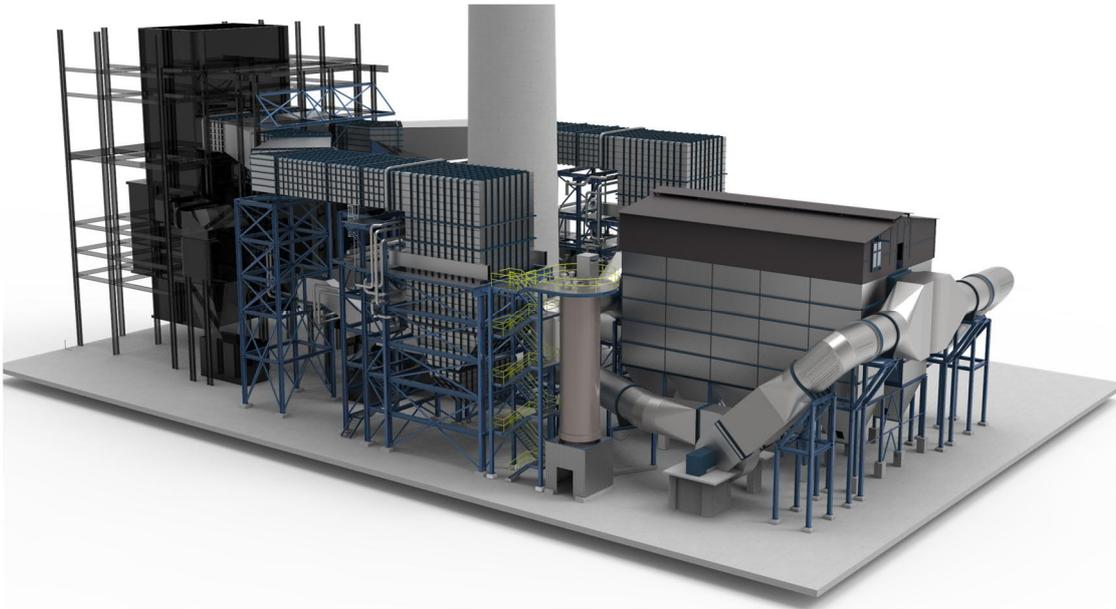
YARAのIndustrial Solutions Stationary部門責任者であるKlaus Weigl氏は、「これは大変革的な事業です」と述べています。「ボイラーからの高温の排ガスは、300°C以上の温度を必要とするSCR脱硝プロセスで使用されます。SCR触媒をエコマイザーに組み込むことは、エネルギーを節約し、二酸化炭素排出量を削減する革新的で他に例のない方法です。ボイラーの排ガスの熱をSCRのプロセスに利用すれば、外部のエネルギー源で排ガスを再加熱する必要はありません。また、廃熱を回収するエコマイザーの設定はそのままでよいため、ボイラーシステム全体の整合性と機能には影響しません。」

ボイラーからの高温の排ガスは、300°C以上の温度を必要とするSCR脱硝プロセスで使用されます。SCR触媒は、既存のエコマイザーを置き換える最新モデルのエコマイザーに組み込まれます。また、排ガス中のSOxは、PTの独自技術であるMEROSが制御します。コンパクトなスペースでのよりよい処理工程とするため、重炭酸ナトリウム（SBC）を脱硫剤として使用し、高い脱硫効率を確保します。完全な乾式技術であるため水の注入は不要です。PTが開発したこの技術はすでに多くのプラントで採用されています。

FGTシステムは、2号発電所の負荷や排ガスの状況の変化にも対応できるよう設計されています。ボイラーは製鉄所で通常発生する副産物ガス（コークス炉ガス、高炉ガス、転炉ガス）で稼働しますが、これらのガスの量や種類は製鉄所の操業状況によって変動します。FGTシステムは必要な環境性能を維持しながら、様々な負荷ケースすべてに対応します。

このプロジェクトは2021年6月に着工し、2022年末までに環境要件を満たすよう急ピッチで進められます。

MEROSはプライメタルズテクノロジーズの登録商標です。



Acciaierie d'Italia の第 2 発電所 (CET 2) 向け排ガス処理プラント 3D モデル

他言語 (英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語) によるプレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

Primetals Technologies

Dr. Rainer Schulze: rainer.schulze@primetals.com

Tel: +49 9131 9886-417

Yara

Christian Lechner: christian.lechner@yara.com

Tel +43 676 7914 304

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室 (広報担当: 山下)
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業 (株) 広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies) は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業におけるエンジニアリング、プラント建設、およびライフサイクルサービスの提供を行うパイオニアかつ世界的リーダーです。当社は電機、オートメーション、デジタルイゼーション、及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、原材料から完成品まで鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工およびパートナーの出資によるグループ会社で、従業員数は全世界で約7,000人です。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : <https://www.primetals.com/jp>

YARA Environmental Technologies, Limited (本社オーストリア、ウィーン) は、幅広い排出源に対応した排煙脱硝技術のリーディングカンパニーです。世界中で計約 100 名の従業員を擁し、世界中の様々な産業分野でサービスを提供しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。 公式ウェブサイト : [Yara's website](#).